

すべての子どもたちに豊かな運動文化を
～わかる、できる、みんなでつくる体育・健康教育実践の創造～



大会期日：2021年8月8日(日)～8月9日(月)
(zoomによるオンライン)

8日(日)	開会行事	9:30～10:00	
	特別講座	10:15～12:00	
	分科会1	13:00～15:00	
	分科会2	15:15～17:15	
	同志会の夕べ	18:30～20:00	～核なき世界へ新たな一歩～
9日(月)	特別企画	7:50～ 8:20	(慰霊碑前で全国の仲間と繋がり黙祷しよう)
	分科会3	9:00～11:15	
	閉会行事	11:30～12:00	

《参加申込要項》

- 参加費：2021 広島オンラン全国研究大会参加費
2日間 3000円(学生1000円)
1日間 8日(日)2000円 9日(月)1000円(学生両日500円)
*分科会は2日間ともあります。2日間、同じ分科会への参加をお勧めします。

- 申し込み方法・支払い方法
学校体育研究同志会HPなどから、ピーティックスサイトからの申し込みとなります。

主催：学校体育研究同志会 〒160-0023東京都新宿区西新宿8-2-34新宿マンション502
<https://taiiku-doshikai.org/>
主管：学校体育研究同志会 全国常任委員会

8月8日（日） 開会行事 9：30から10：00

オープニング “中野七頭舞”で幕開け！（広島支部 広島民俗舞踊教育研究会）（10分）

“中野七頭舞”は岩手県のリアス式海岸にある小本地方の民俗芸能です。開拓の舞と言われ、七つの道具を持ち、七種類の舞を舞うところから七頭舞と名付けられています。広島支部では、地元の保存会の方との交流を長く続け、保育園の子ども～おとなまで、楽しんで舞っています。

これまでの取り組みをビデオ編集してお届けします。

ようこそオンライン広島大会へ

全国常任委員長より歓迎のあいさつ。

基調報告

この大会で何を学び、深めるのか全国研究局と現地実行委員会から報告します。



8月8日（日） 特別講座 10：15～12：00

～「核兵器のない世界」への道を切り拓く、新しい時代の始まり～
ヒロシマのある国で“いま”伝えたいこと！

A 被爆証言を聞く

～生きていたうちに核兵器の廃絶を！～

矢野 美耶古さん（広島県被団協副理事長）

14歳の時、爆心地から約4kmの自宅で被爆した矢野さん。「8月6日」はおなかが痛くて建物疎開の作業を休み、生き残りました。その後、「さぼった、非国民」などと言われ、つらくて死ぬことばかりを考え、何年も原爆から目をそらしていました。そんな矢野さんが“いま”私たちの前で、被爆体験を証言してくださいませ。



B 民主的な保育・教育とは

～いつどこに生まれても子どもには最善の利益を！～

山下 慶子さん（口田なかよし保育園園長）

歌うの大好き、踊るの大好き、描くこと、つくること、食べること、大好き！人間大好き、けーこ先生のまわりはいつも笑顔の花が咲きます。日本全国、そしてアジアにもとび出して“保育の種”をまくけーこ先生。

コロナ禍で、感染症対策を大前提にしながらも、子どもたちにとって“最善の利益”を仲間と共に追い求める日々の保育を語ります。



C ヒロシマの平和教育

～子どもたちにヒロシマをどう語り継いでいくのか～

高橋 信雄さん（広島県原水協代表理事）

ヒロシマを学ぶとはどういうことなのか？

1. ヒロシマの感性認識・科学的認識、ヒロシマのヒバクシャ運動
 2. ヒバクシャのたたかいから、何を学び、どう伝えていくのか？
 3. ヒバクシャの運動が生み出した「核兵器禁止条約」から学ぶこと
- 私たちが自ら学びとった視点で、目の前の子どもたちの姿を見つめ直していきたいと思えます。



8月9日(月) 特別企画 全国の仲間とつながり慰霊碑前で黙祷しよう!
7:50~8:20 平和記念公園※ライブ配信の予定。但し天候によっては録画配信

2021年8月、被爆76年を迎えるヒロシマ。
核兵器禁止条約が1月に発効した大切な年です。
8月9日、ナガサキも76年目の“あの日”を迎えます。
ノーモア ヒロシマ! ノーモア ナガサキ! ノーモア 被爆者!
大会2日目、9日の早朝になりますが、全国の大会参加者とつながって
原爆慰霊碑の前で、黙祷をしたいと思います。



≪分科会≫分科会1-2…8日(日)13:00~17:15 分科会3…9日(月)9:00~11:15

1	障害児体育	「子どもの内面を育みからだを耕す」障害児体育を目指して取り組んでいます。子どもたちが手応えと達成感の持てる「わかってできて、つながり合える」教材や授業づくりを進めることが「合理的配慮」に応えることに繋がると考えています。	特別支援学級 特別支援学校
2	幼年体育	幼児期に身につけておきたい力を意識した、発達段階に応じた運動あそびの系統的な指導のあり方を検討します。5歳児のソーラン節と南中ソーランの実践から学びます。2つの違いや共通点等から、幼児期に民舞に取り組む意味や、何を学ばせたいのか、大切にしたいのか等について交流し、検討します。	荒馬(5歳児)
3	小学校体育	「目の前の子どもたちが主体的で深い学びを形成していく授業が求められています。家庭・地域や学校における子どもたちの状況を出し合い、それぞれの学年の発達段階を踏まえて、教材を通して何を学ばせるのかを明らかにしていくための教材づくりをともに考えます。」	とび箱あそび(小1) バスケットボール(小6)
4	中学校体育	周囲と同じようにしていなければという思いと、唯一無二の自分でいたいという思いのはざまに揺れる中学生にとって、みんなとともに学ぶにふさわしい保健体育の内容と授業づくりの方法を具体的事実に基づいて検討します。	リレー(中3) 表現(中3)
5	高校体育	青年期の実態や取り巻く状況を明らかにし、青年に「つきたい力や学力」について討論します。実践報告はソフトボールとバレーボールをもとに高校生に学んでほしい中身や授業づくりについて検討します。	ソフトボール バレーボール
6	「戦略・戦術」 バスケット ボール	バスケットボールの歴史的な歩みも含めつつ「運動文化」としてトータルに学びます。戦術的な課題や小学生から中高生までつながる系統的な指導のあり方を深めます。ゲームの中で生きる二人のコンビネーション(ディフェンスを意識した)を中心に実践提案を通して学んでいきます。	バスケットボール (高学年)
7	「戦略・戦術」 フラッグ フットボール	フラッグフットボールの戦術を学び、みんなが活躍できるボール運動の授業づくりを行います。2対2で基礎となる戦術的課題や技術を学びます。小学校と高校の実践提案を「学んだ知識を使って思考・判断するゲーム」をキーワードにして検討します。3人以上のゲームへとつなげる授業過程を検証していきます。	フラッグフット ボール (小学校・高校)
8	「戦略・戦術」 サッカー	2人のコンビネーションシュート、じゃまじゃまサッカー、サッカーの原型である「フットボール」にまでさかのぼって教材化した「お祭りサッカー」などの実戦を整理し、長年続いている「サッカーは何を教える教科か?」の問いに改めて立ち向かい、参加者で新たな実戦を練ります。	じゃまじゃま サッカー お祭りサッカー

9	「表現」 器械運動	子どもたちが「器械運動を楽しく！学び合い・わかって・上手くなる」教材づくり・授業づくりを目指して研究します。実践提案の検討を通して、「器械運動の楽しさや新たな教材としての可能性」を追究します。「2学期に器械運動の授業をしてみたい」と思えるような分科会にしていきます。	マット・跳び箱・鉄棒 (中・高学年)
10	「舞踊表現」 民舞	民俗舞踊は、子どもたちのからだを耕し、心を開く豊かさを持っています。民俗舞踊に共通する「理にかなった動き」を探るワークと、背景にある文化性や民俗の願いを教材化した実践について考えます。	大森みかぐら (地域子ども会)
11	「記録・競争」 陸上	走については、「平面や起伏を使った障害走」からスピードコントロールや体の使い方について考えます。投については、「投げるもの」「投げる目的」「投げ方」を実践から探ります。	平面走(小1) 投げる(小3)
12	「水辺文化」 水泳	基礎泳法「ドル平」について改めて学び直します。近代泳法への指導のつながりや音楽水泳など表現につながる内容についても検討します。また、「水辺文化」を意識した幅広い実践の可能性について、コロナ禍での水泳授業の在り方についても探っていきます。	ドル平 お話水泳 音楽水泳など
13	健康教育の 授業づくり	健康教育をすすめる上で、子どもたちの生活課題や背景の社会問題に目を向け、現実の課題に向き合うことが欠かせません。コロナ禍での実践から、子どもたちと共に創っていく授業のあり方や教材づくりの方法を学びます。子ども・父母・地域の方・教職員との共同の授業づくりをどう進めるかなども交流します。	心もからだも大切に しあえる学校 高校
14	体育理論の 授業づくり	現在オリンピック・パラリンピック(オリ・パラ)に関わって様々な議論がされています。これまで東京都を中心に行政主導による「オリンピック教育」が推進されてきました。その内容を検討すると共に、私たちの考える「オリ・パラ教育」の内容と方法を考え、実践計画を立案します。	オリンピック 小学校 中学校 高校
15	子ども・スポーツ・社会と 学校づくり	子ども・若者が主権者として育つための学校と地域の取り組みを、自治と協働をキーワードに読み解きながら、同志会の基礎教養を構築していきます。学級・学校づくり、子どもの社会参画の筋道、若者の居場所づくり、学校と地域の連携、スポーツ・芸術文化の再構築など多彩なテーマを扱います。	小学校 高校 地域
16	グループ学習	平和や民主主義を希求し、グループ学習は発展させられました。基調提案では広島大会だからこそ、グループ学習の展望を話し合います。実践提案は2本です。いずれも子どもの想いや願いによりそい、みんなで課題の解決をめざした実践です。実践を通して育つ、子どもものもの見方・考え方についても検討します。	ベースボール (小2) ハードル走 (小5)

※2日間、同じ分科会に参加されることをお勧めします。

《初参加者おすすめ基礎講座》⇒**広島県内の方限定**

基礎講座は、初めて大会参加される方、技術指導に悩んでいる方、これから現場に出る学生向けの、ベテラン講師による実技講座です。同志会が蓄積してきた系統的な指導法、すべての子どもがうまくなる指導法、子ども自らが主体的に授業をつくり上げていく方法を学びます。コロナ禍により、変更の可能性があります。

講師	8日(日)		9日(月)
	講座①	講座②	講座③
安武 一雄 (大阪)	器械運動指導の 基本的な考え方	実技1 幼児～低学年	実技2 中学年～高学年

8月9日（月） 閉会行事 11:30~12:00

比婆荒神神楽“猿田彦の舞”（広島支部 広島民俗舞踊教育研究会）

比婆荒神神楽は、広島県で唯一国の重要無形文化財の指定を受けている民俗芸能です。笛や太鼓に囃されて、悪魔を払い、大地を清め、行く手を指し示す“猿田彦の舞”

ポストコロナ時代に向けて、仲間と共に同志会の明日を切り拓く願いを込めて舞います！
広島大会 研究のまとめ 今大会の成果と課題。全国研究局からの報告

《参加申込要項》 ※必ずお読みください

●参加費：2021 広島オンラン全国研究大会参加費

*分科会は2日間ともあります。2日間、同じ分科会への参加をお勧めします。

2日間 3000円（学生1000円）

1日間 2000円（8日） 1000円（9日） （学生両日500円）

【申し込み/支払について】

●申し込み方法 ・支払い方法

・下記のピーティックスサイトからの申し込みとなります。（インターネット 익스プローラーには対応していません） <https://peatix.com/event/1938425/view>

・『学校体育研究同志会HP』又は『2021 広島大会HP』からも申し込みます

検索：学校体育研究同志会

・申し込みサイトにて必要事項をご記入の上、お申込みください。大会前日までに、ZOOMのアドレスを申し込み時に記入していただいたアドレスに配信いたします。

・クレジットカード又は、コンビニでの支払いとなります。ただし、コンビニ場合には、別途220円かかります。（税込み）

・ピーティックスサイトからの申し込みがうまくできない方は下記へ問い合わせください。

【提案集について】

●『学校体育研究同志会HP』より必要な部分をダウンロードしてください。ダウンロードに必要なパスワードは、申し込み時に記入していただいたアドレスに後日配信いたします。

【申し込み締め切り】

2021年8月4日(水)厳守 サイトからの申し込みができなくなります。

【問い合わせ先】：k.nozomu@jcom.home.ne.jp

児玉 望



大会申し込みサイト



広島支部 HP



学校体育研究同志会 HP